平成 27 年 11 月 27 日(金)発行

奈良県感染症情報

平成 27 年 第 47 週(11 月 16 日～ 11 月 22 日)
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
http://www.pref.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 保健研究センターだより 11 月

❖定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)❖

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	8.12	(6.15)	↑	↑	↑	↑↑
2	RS ウイルス感染症	3.71	(2.50)	↑	↗	↑	→
3	A群溶連菌咽頭炎	1.82	(1.53)	↗	→	↑	↗
4	突発性発しん	0.76	(0.35)	↑	→	↑↑	↓
5	流行性耳下腺炎	0.62	(0.21)	↑	↑	→	↑

発生状況:大流行　流行　やや流行　少し流行　散発　(疾患毎に、基準値を定めています。)
増減:過去5週間平均数と比べたときの変化　↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓減少

❖県内概況❖

感染性胃腸炎は中和保健所管内で大きく増加しています。予防のためにトイレの後や食事の前はこまめに手を洗いましょう。

RS ウイルスも大きく増加しており、近府県の中でも最も多く、昨年のピーク時と同じレベルとなりました。大人は軽い風邪様の症状で済みますが、0 歳～2 歳の子どもは肺炎や気管支炎など重症化することがあります。子どもが日常的に触れる手すりやおもちゃなどはこまめにアルコールや塩素系消毒剤で消毒し、手をよく洗いましょう。また、咳などの症状がある人はマスクを着用して広げないようにしましょう。

流行性耳下腺炎、伝染性紅斑、マイコプラズマ肺炎も例年よりも増えています。通勤・通学、職場、学校、塾など人が多く集まるところに行った際は手洗い・うがい、咳エチケットを心がけましょう。

今年はインフルエンザのワクチンが変わりました。

従来よりもB型インフルエンザに対する効果が期待されています。ワクチンは効果が発現するまでに2週間程度かかると言われているため、早めの接種をしましょう。

インフルエンザに感染してしまったときの対応は

<出典>首相官邸 HP(http://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/influenza.html)

目安として、比較的急速に 38℃以上の発熱があり、せきやのどの痛み、全身の倦怠感を伴う場合はインフルエンザに感染している可能性があります。

- 発症から 48 時間以内に抗インフルエンザウイルス薬の服用を開始すれば、発熱期間の短縮などの効果が期待できます。早めに医療機関を受診し、処方された薬は医師の指示に従って服用しましょう。
- お年寄りやお子さん、妊婦さん、持病のある方、そして下記のような重症化のサインがみられる場合は、すぐにお近くの医療機関を受診しましょう。
- 水分の摂取も必要です。汗をかいたときや脱水症状の予防のためにもこまめに水分を補給しましょう。
- 咳エチケット

  せきやくしゃみをする時は、飛沫に病原体を含んでいるかもしれないので、周りに人がいる際にはマスクを着用しましょう。

重症化のサイン

お子さんでは	大人では
□けいれんしたり呼びかけにこたえない	□呼吸困難、または息切れがある
□呼吸が速い、苦しそう	□胸の痛みが続いている
□顔色が悪い(青白)	□嘔吐や下痢が続いている
□嘔吐や下痢が続いている	□症状が長引いて悪化してきた
□症状が長引いて悪化してきた	

❖定点把握感染症報告状況❖

平成 27 年 第 47 週 11 月 16 日 ～ 22 日

保健所別報告数	奈良県	北部		中部		南部	
		奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野
インフルエンザ定点数	*54*	*11*	*16*	*11*	*11*	*2*	*3*
インフルエンザ	4 (0.07)	1 (0.09)			1 (0.09)	2 (1.00)	
小児科定点数	*34*	*7*	*10*	*7*	*7*	*1*	*2*
RSウイルス感染症	126 (3.71)	28 (4.00)	10 (1.00)	32 (4.57)	55 (7.86)		1 (0.50)
咽頭結膜熱	19 (0.56)	1 (0.14)	5 (0.50)	3 (0.43)	7 (1.00)		3 (1.50)
A群溶連菌咽頭炎	62 (1.82)	14 (2.00)	17 (1.70)	10 (1.43)	18 (2.57)		3 (1.50)
感染性胃腸炎	276 (8.12)	27 (3.86)	58 (5.80)	102 (14.57)	77 (11.00)	5 (5.00)	7 (3.50)
水痘	15 (0.44)	3 (0.43)	12 (1.20)				
手足口病	5 (0.15)		1 (0.10)	1 (0.14)	1 (0.14)		2 (1.00)
伝染性紅斑	18 (0.53)	5 (0.71)	4 (0.40)	7 (1.00)	2 (0.29)		
突発性発しん	26 (0.76)	5 (0.71)	8 (0.80)	6 (0.86)	7 (1.00)		
百日咳							
ヘルパンギーナ	2 (0.06)		1 (0.10)		1 (0.14)		
流行性耳下腺炎	21 (0.62)	12 (1.71)	4 (0.40)	3 (0.43)		2 (2.00)	
眼科定点数	*9*	*1*	*3*	*2*	*2*	*0*	*1*
急性出血性結膜炎						−	
流行性角結膜炎	5 (0.56)		2 (0.67)	1 (0.50)	2 (1.00)	−	
基幹定点数	*6*	*1*	*2*	*1*	*1*	*1*	*0*
細菌性髄膜炎							−
無菌性髄膜炎							−
マイコプラズマ肺炎	6 (1.00)	2 (2.00)	1 (0.50)			3 (3.00)	−
クラミジア肺炎							−
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							−

上段 ：報告数
(下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数

❖全数把握感染症報告状況❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(奈良市2、郡山1、中和1、内吉野1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症1件(郡山1) 後天性免疫不全症候群1件(内吉野1)

✤第47週のトピックス✤

感染症対策特集(首相官邸HP 11月20日更新)
http://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/index.html

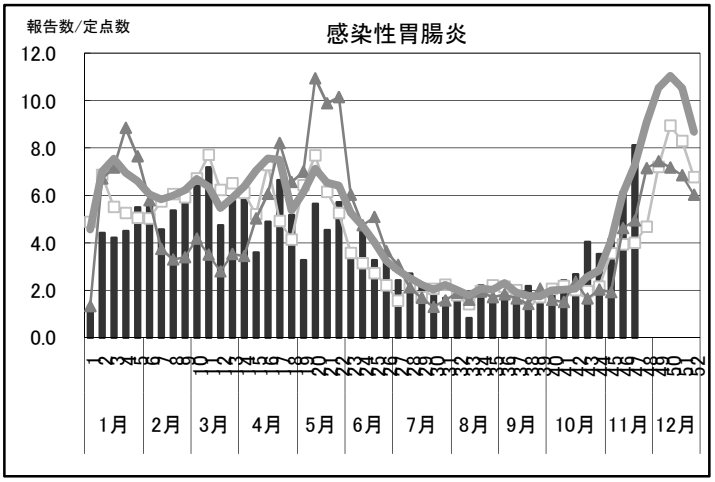
※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

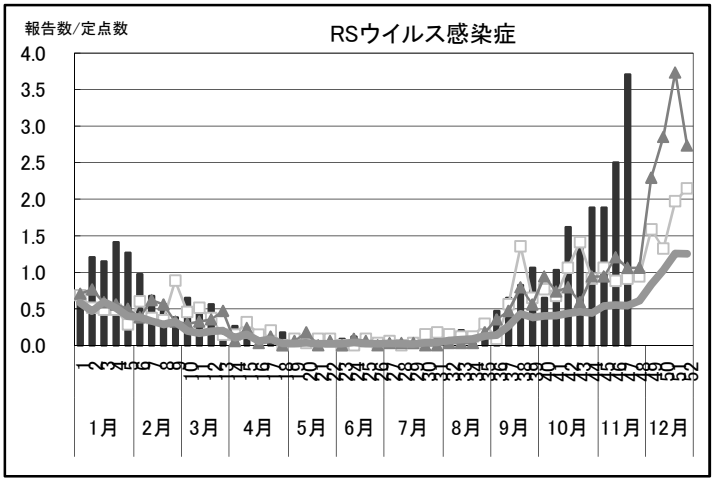
年齢別報告数

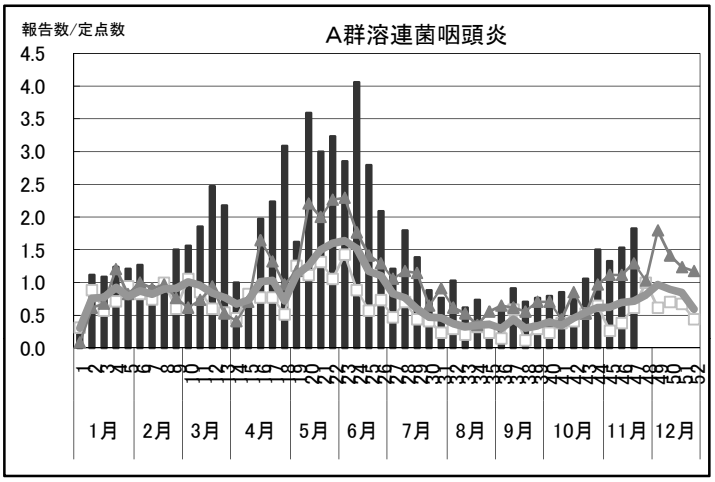
年齢区分	*年齢*	*0-5M*	*6-11M*	*1歳*	*2*	*3*	*4*	*5*	*6*	*7*	*8*	*9*	*10-14*	*15-19*	*20-29*	*30-39*	*40-49*	*50-59*	*60-69*	*70-79*	*80-*	*合計*	*累計*
インフルエンザ	男																						3988
	女													1		1				2		4	4010
年齢区分	*年齢*	*0-5M*	*6-11M*	*1歳*	*2*	*3*	*4*	*5*	*6*	*7*	*8*	*9*	*10-14*	*15-19*	*20-*							*合計*	*累計*
RSウイルス感染症	男	11	10	20	11	4	3	1	1													61	503
	女	7	12	24	13	8	1															65	514
咽頭結膜熱	男			2	2	1			2													7	284
	女	1	2	4	1	1	2						1									12	253
A群溶連菌咽頭炎	男		1		1	3	3	8	5	2	3	2	5	1								34	1293
	女					2	4	5	3	4	2	2	4		2							28	1129
感染性胃腸炎	男	1	9	42	22	11	10	6	5	5	6	10	11	3	7							148	3246
	女	2	7	30	28	11	9	4	4	3	7	4	5	1	13							128	3005
水痘	男				2		3	1	1					1								8	230
	女				3			3	1													7	213
手足口病	男		1	2		1																4	2302
	女				1																	1	1950
伝染性紅斑	男					1	4	1	2	2	1		1									12	194
	女						1		1	1		1			2							6	199
突発性発しん	男	1	7	4	3					1												16	370
	女		2	6	2																	10	334
百日咳	男																						6
	女																						5
ヘルパンギーナ	男				1																	1	359
	女				1																	1	320
流行性耳下腺炎	男			4	2	1	1	4														12	130
	女			1	1	4							1	1	1							9	137
年齢区分	*年齢*	*0-5M*	*6-11M*	*1歳*	*2*	*3*	*4*	*5*	*6*	*7*	*8*	*9*	*10-14*	*15-19*	*20-29*	*30-39*	*40-49*	*50-59*	*60-69*	*70-*		*合計*	*累計*
急性出血性結膜炎	男																						3
	女																						2
流行性角結膜炎	男																3					3	64
	女														1	1						2	60
年齢区分	*年齢*	*0歳*	*1-4*	*5-9*	*10-14*	*15-19*	*20-24*	*25-29*	*30-34*	*35-39*	*40-44*	*45-49*	*50-54*	*55-59*	*60-64*	*65-69*	*70-*					*合計*	*累計*
細菌性髄膜炎	男																						4
	女																						5
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男		1	2																		3	39
	女			3																		3	40
クラミジア肺炎	男																						
	女																						1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						60
	女																						48

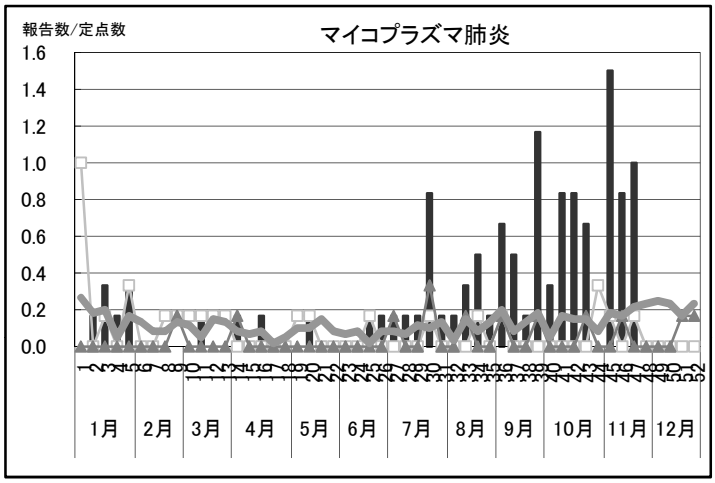
❖注目疾患の動向❖全て定点当たり報告数

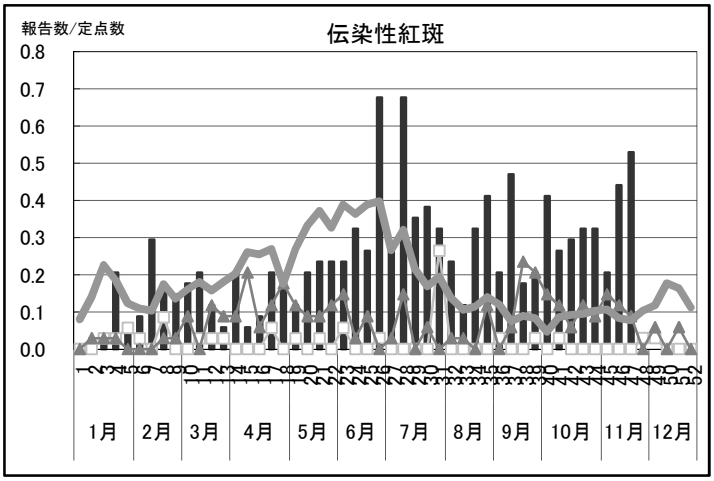
H27　H26　H25　過去10年平均

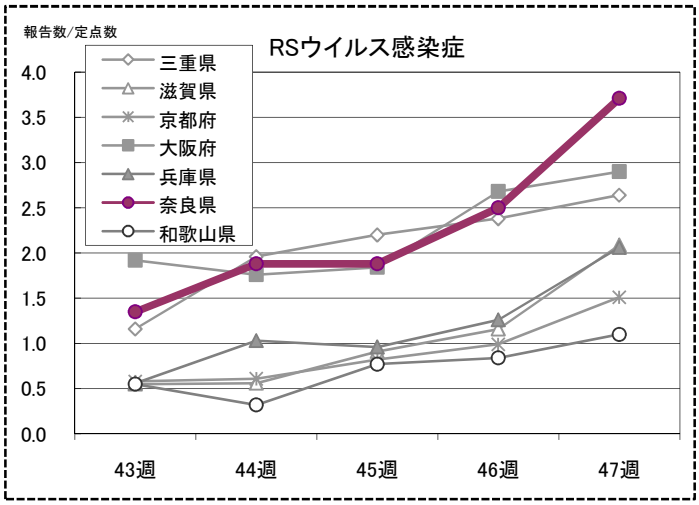


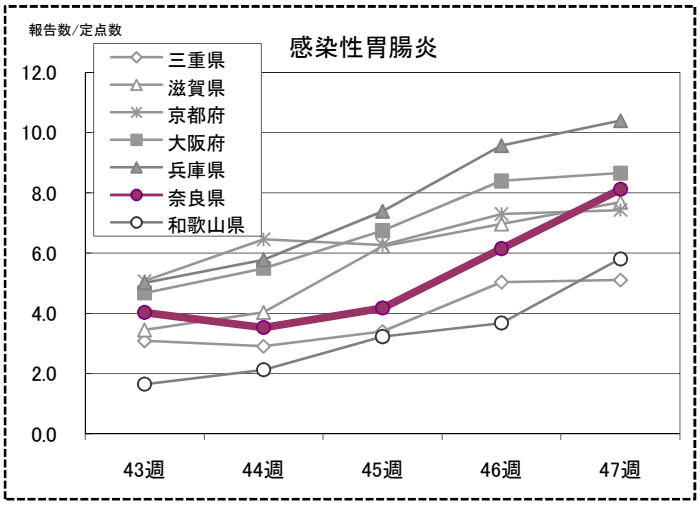


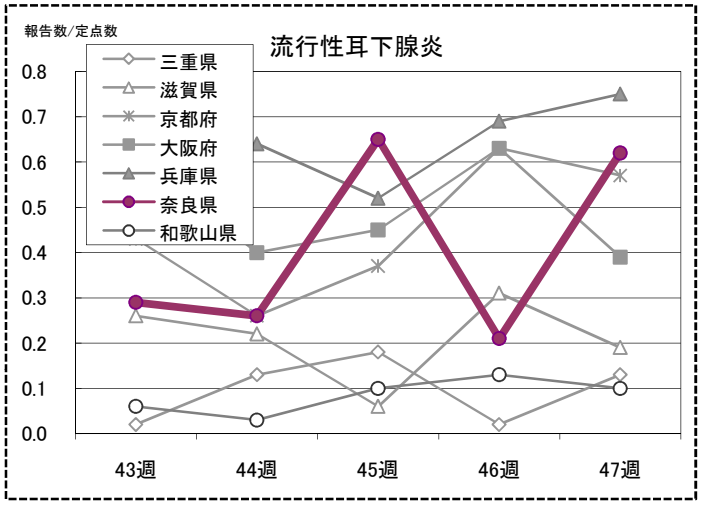












エンテロウイルス D68 の検出について

奈良県で初めてエンテロウイルス D68（EV-D68）を検出しましたのでお知らせいたします。

＜患者情報＞

患者　：1歳 8 か月男児　入院なし　散発　診断名：肺炎　検体採取日：10 月 6 日
症状　：最高 38.7℃(2 日間)、肺炎、喘息性気管支炎、SpO_2 94%
咳、鼻汁、喘鳴強い、その他特徴的な所見なし

＜概要＞

日本においては、2005 年以降、EV-D68 が検出された症例は 200 例以上あり、多くは呼吸器症状を呈した症例で、急性弛緩性麻痺(AFP:Acute Flaccid Paralysis)を呈するものはほとんどありませんでした。

今年の 8 月以降、小児を中心にポリオ様麻痺に類似した原因不明の AFP の症例が相次いで報告されており、その一部に EV-D68 が検出される例が含まれています。直近では、広島県の症例 [1]、さいたま市の症例 [2] で EV-D68 が検出されています。

また、昨年米国でも EV-D68 感染に伴う小児の重症呼吸不全症例が 1000 例を超えて報告され、その一部に急性弛緩性麻痺が見られたとの報告がありました。

AFP 症例についてはポリオとの鑑別と、EV-D68 との関連性についての調査が重要とされています。

＜国内情報＞

2005年～2014年9月までにEV-D68が検出された患者265例で、診断名は呼吸器疾患（191例）で約72%を占めており、手足口病（12例）、感染性胃腸炎（6例）、ヘルパンギーナ（4例）、無菌性髄膜炎（2例）の割合はそれぞれ1～4%の間で推移していました。また、急性脳炎・脳症からの検出は4例でした。他に喘息（6例）、心肺停止〔2例；2010年と2013年にそれぞれ1例で、胃腸炎症状（嘔吐・腹痛含む）の4歳児と発熱症状の0歳児〕などもありました[3]。

2015年のEV-D68の月別検出報告数は、8月14例、9月124例、10月25例です。

＜検体採取にご協力ください＞

2015 年 10 月 21 日付け厚生労働省からの事務連絡により、当センターでは AFP を認める症例の検査を実施しております。

医療機関におかれましては、日頃のご協力に感謝するとともに、引き続き検体の採取をよろしくお願いいたします。

1) http://www.nih.go.jp/niid/ja/entero/entero-iasrd/5219-kj4184.html
2) http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/a/ev-d68/2335-idsc/iasr-news/6004-pr4286.html
3) http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/2335-disease-based/a/ev-d68/idsc/iasr-news/5167-pr4181.html

＜参考＞感染研 HP　病原微生物検出情報
http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/4563-iasrgtopics.html

検査担当：ウイルス・疫学情報担当
〒 633-0062　桜井市栗殿 1000
TEL 0744-47-3182
FAX 0744-47-3161